

一般質問



統合角館小学校開校について 神代小学校建築について

小田嶋 忠

学校構築の基本的な考え方について

質問 学校統合で一番大事なことは、校舎という入れ物にどんな魂を吹き込むかだと思ふ。統合の本当の仕事はこれから始まる。

教育委員会としても言葉先行でなく真剣に取り組まなければならぬ。

三校は特色ある経営方針、教育目標等を揚げて学校づくりしてきた。統合小学校はそれらを踏まえた新たな学校づくりを目指していると思うが、方針や目標を具体的にどう考えているのか。

教員 角館地区として、文教の地の歴史を引き継ぎ、教育文化を大切に、この地域としての学校の息吹を継続して進めたいと考えている。

学校構築に向けての体制作りについて

質問 統合初年度は、教育の指導体制や環境整備、地域、保護者との連携、また校外の関係機関との体制など課題が山積みしている。これらの課題に的確に対応できる教職員の確保、また教育委員会としての指導体制が大事と考えるが。

教員 角館小学校開校準備委員会を組織し協議を重ね、学校の運営、経営について基本的な準備を進めてきた。人事ではそれぞれのセクションの職員を三校からピックアップしながら教育事務所へお願いしている。

開校に当たっての課題について

質問 通学の問題を始めとして課題があったと思われるが他には問題がなかったのか。

市長 保護者の意向、各校のこれまでの経緯経過、スクールバスの配置、三校それぞれ規模が違うため、子どもたちの融合をどう進めるかが課題であった。

備品購入について

質問 緊急必要な備品等のリストアップに当たって、学校関係者の意向を十分聴取したのか。

教員 開校準備委員会の中で確認し、机やイスを購入し、他の備品については、古い備品をやり繰りし、新しい活動に資したい。

「心を育てる」教育について

質問 市の教育方針に示された目標のひとつに「豊かな心」があるが、現在いじめや不登校、犯罪の低年齢化など、人間の心の問題をめぐる教育のあり方が問われている。今後の取り組みと考える方は。

教員 教育三法の中でも、道徳教育、特に心の教育の問題については大きなウェイトを占めている。道徳の時間は核になるが、学校行事等の活動の中で統合的な学習、体験を通して心を豊かにしていきたい。

神代小学校改築について

質問 敷地が三角形で使い勝手が悪いとは思わなかったのか。

天井の高さが統合角館小学校が三メートル、神代小学校は二メートル八十センチとなっているが、この違いの理由は何か。

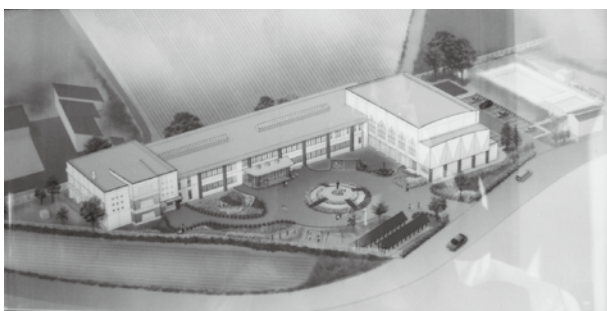
また児童生徒数が年々減少して中で、隣接地区との学校統合を想定していなかったのか。この機会に学区の見直しを検討すべきと思うが。

教員 天井の高さは、建築基準法の規制の緩和、暖房

の効率化、教室内環境を考慮して決めた。敷地については検討委員会の選択で現在地に決まったものである。

隣接地域との統合については神代地区は仙北市の中で児童数の減少が一番少ない地域であり、統合していくという考えは持っていない。

学区の見直しについては、今の学区は旧町村で選択してきたものであり、再編すると意味の編成は、今後検討しなければならぬと思っている。



神代小学校完成予想図